

自由に参加できます！

第41回明大昆虫セミナー

衛生害虫と感染症

小林 睦生 氏

(国立感染症研究所 昆虫医科学部)

日時：2017年3月10日(金) 16:30~18:00頃

会場：明治大学 生田キャンパス 農学部6号館206教室

昆虫が病原体を媒介する方法には、大きく分けて3つの様式が知られています。1つめはマラリアやデング熱などのように、カ類などが吸血に際して唾液とともに人体へと注入する方法です。2つめはフィラリアなどのように、昆虫体内から自力で脱出した病原体が、付着した人体の小さな傷から侵入する方法です。3つめは発疹チフスなどのように、昆虫の排泄物に含まれた病原体が、付着した人体の小さな傷から侵入する方法です。

衛生害虫として問題になるハエ類は、3つめの方法を使うことで知られています。基本的には、病原体は昆虫の体内に存在する間に顕著な増殖を起こしません。しかし、食品などを介して伝搬されるため注意が必要です。今回のセミナーでは、こうした「機械的伝搬」の問題点やメカニズムを中心に、さらには昆虫類と感染症との複雑な関係についても広く紹介して頂きます。奮ってご参加下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享